



2022年2月10日

報告書

「健康な小児に対する新型コロナワクチン接種」 医師・歯科医師の意識調査

Survey of Physician and Dentist's Attitude on
Covid-19 Vaccination for Healthy Children



一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

Japanese Society for Orthomolecular Medicine

概要 Summary

令和4年3月より小児（5～11才）を対象とした新型コロナウイルスに対する mRNA ワクチンの接種が開始される。厚生労働省は保護者がメリットとデメリットを考えて接種を決めるように呼びかけている。しかし、ある程度の情報があっても「我が子に打つべきか」と一般の保護者には判断に迷うところである。そこで「医師が自分の身内へのワクチン接種をどのように考えているか」について意識調査を行い、保護者の判断資料として国民に提供することとした。

- [1] 医師、歯科医師にメールで意識調査の回答を依頼したところ、541人(男 384人, 女 157人)から回答を得た。内訳は医師 301人、歯科医師 240人で、年代は40代～60代が中心であった。診療所勤務が84.7%であった。
- [2] 5～11才の子や孫のいる169人中、自分の子や孫にワクチンを「接種する」と回答したのは5.3%で、「しない」「しばらく様子を見てから判断する」が92.3%であった。また、親戚や友人から子どもへのワクチン接種について相談されたら「接種を推奨する」と回答したのは6.7%で、「推奨しない」「しばらく待つように言う」が88.4%であった。接種しない、或いは推奨しない主な理由は「副反応が心配」、「決めるための情報が十分でない」、「この年齢にワクチンは必要でない」であった。
- [3] 回答者の55.1%(医師51.8%, 歯科医師59.2%)がワクチン未接種であった。日本のワクチン接種率は約80%であり、回答者の職業意識の差、もしくは調査依頼先における偏りの可能性は否定できない。
- [4] 国や自治体、医師会から届くワクチンの副反応情報について、85%が「不十分」「あまり信頼していない」と低く評価した。
- [5] 回答者の84.5%が氏名、所属先、メールアドレス（全員）を記入していることより、本意識調査の信憑度は高いと考えられた。

本調査をまとめると、9割の医師は「5～11才の小児への接種を推奨せず、現時点では接種せずに待つべきである」と考えている。ワクチン接種の安全性および必要性の疑問と情報の不足によってこうした結果がでたと考えられる。今後は、本調査の回答者の偏りを減らすために、学会や医師会、コロナ対応総合病院やなどで本調査を実施する必要がある。

序文 Introduction

令和4年1月19日に厚生労働省はファイザー社製 mRNA ワクチン「コミナティ」について、5～11才の小児への接種を認可した。同日、それに追従するように日本小児科学会は「5～11才の健康な小児へのワクチン接種は意義がある」とする考えを打ち出した。日本小児科学会の提言を受け、厚生労働省は3月から小児へのワクチン接種を全国で開始することとした。

しかし、このワクチンの重篤な副反応データや長期安全性データについてはまだ調査が不十分である。特にワクチン接種後の殆どの死亡例がワクチンとの因果関係は不明であると報告されている。そのような状況下で、小児はコロナに感染しても重症化しにくいこともあり、小児にワクチン接種する意義について様々な意見が出ている。日本小児科医学会も「重症化がまれな小児期の接種意義は成人および高齢者への接種と同等ではない」という見解を出している。

一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会では、ワクチン「反対派」でも「推進派」でもなく、常に「慎重派」の立場である。そして、子どもへのワクチン接種においては保護者が正しい情報を元に慎重に判断をすべきであると考えている。しかし、テレビメディアや新聞報道では、小児に対するワクチン接種を推進する内容の情報に偏り、これに比してワクチンの副反応に関する報道が少ないように映る。

そこで、日本オーソモレキュラー医学会では「健康な小児に対する新型コロナワクチン接種に対する医師・歯科医師の意識調査」を実施することにした。国民の多くは医師がワクチンの重要性および副反応についての情報や知識を多く持っていると考えているであろうこと、そして、医師の意見が自分の子どもにワクチン接種を行うか否か判断する上で参考になるであろうことが挙げられる。

例えば「医師は自分の子どもにワクチンを接種するのか?」、「医師は友人から相談を受けた時に子どもへのワクチンを推奨するか?」などである。本調査研究の目的は、この結果を国民に広く伝えることにより、親が子どもへのワクチン接種を行うか否かの判断をする一助となることを期待するものである。

調査方法 Methods of Survey

[1] 対象：一般社団法人 日本オーソモレキュラー医学会、一般社団法人 こどもコロナプラットフォーム、点滴療法研究会に登録されている医師と歯科医師ならびに各所属会員より本調査への協力を呼びかけられた医師と歯科医師とした。3団体に登録されている医師と歯科医師にはメールでインターネット上の調査用紙の回答、ならびに職場の同僚や知人に調査への協力の呼びかけを依頼した。

一般社団法人 日本オーソモレキュラー医学会 https://isom-japan.org/top_after

一般社団法人 こどもコロナプラットフォーム <https://www.kodomocorona.com/>

点滴療法研究会 <https://www.iv-therapy.org/medical/about/>

[2] 調査用紙について:

依頼者が中立的立場であることを明らかにするため、回答を依頼するメールには、厚生労働省のワクチン副反応の最新データや日本小児科学会と日本小児科医学会の関連記事(①～④)を参考資料として附記した。

①ワクチンの副反応に関する厚労省(予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)の報告。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html

②厚生労働省のワクチン副反応データを分かりやすく要約した泉大津市のサイト。

<https://www.city.izumitsu.lg.jp/kakuka/kenko/kenkodukuri/osirase/kennkoujyouhou/koronawakutinsessyu/7070.html>

③日本小児科学会 「5～11 歳小児への新型コロナワクチン接種に対する考え方」

http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=404

④日本小児科医会 「5 歳～11 歳の新型コロナウイルスワクチン接種にあたって」

<https://www.jpaweb.org/blog/uncategorized/a275>

[3] 回答依頼項目の内容

(1)回答者プロフィール:医師種別、性別、年齢、勤務先種類、主な診療科、都道府県

(2)質問の内容(別紙1)

①家族に子や孫がいる場合にワクチン接種をするか否かと、その理由。

②親戚や知人から子どもへのワクチン接種を相談された場合の対応とその理由

③回答者のワクチン接種歴

④国や自治体、医師会から届くワクチンの副反応情報に対する評価

⑤氏名、所属先、メールアドレス

(3)記入サイト <https://ws.formzu.net/fgen/S54394900/>

[3] 調査期間:2022 年 1 月 27 日～2 月 3 日の 7 日間

[4] 集計:調査の締め切り後に医師 1 名と理工系大学院在籍歴の社会人1名で集計し、確認を行った。

調査結果

Survey Results

[1] 回答者のプロフィール

全回答者数は541人(男 384 人, 女 157 人)、内訳は医師 301 人、歯科医師 240 人であった。年代は 20 代(25～29):1人, 30 代:23 人, 40 代:140 人, 50 代:235 人, 60 代:124 人, 70 代:17 人, 80 代:1人であった。

勤務先は診療所が 84.7%と最も高く、一般病院(7.6%)、教育機関関連病院(5.0%)と続いた(表1)

<表1>回答者の主たる勤務先

主たる勤務先	【全員】		【医師】		【歯科医師】	
病院(教育機関関連)	27 人	5.0%	25 人	8.3%	2 人	0.8%
病院(一般)	41 人	7.6%	40 人	13.3%	1 人	0.4%
診療所・クリニック	458 人	84.7%	225 人	74.8%	233 人	97.1%
その他	15 人	2.8%	11 人	3.7%	4 人	1.7%

専門領域は多岐に渡り、医師は内科が 139 人と最多で、産婦人科、皮膚・美容皮膚科、精神神経科、小児科、整形外科、外科が続いた(表2)。

<表2> 回答者の専門領域

内科	139人	25.7%	整形外科	14人	2.6%
外科	13人	2.4%	脳神経外科	8人	1.5%
小児科	16人	3.0%	形成美容外科	7人	1.3%
産婦人科	21人	3.9%	精神神経科	17人	3.1%
皮膚・美容皮膚科	18人	3.3%	心臓血管外科	1人	0.2%
耳鼻咽喉科	6人	1.1%	泌尿器科	6人	1.1%
眼科	6人	1.1%	歯科口腔外科	237人	43.8%
麻酔科	4人	0.7%	診療をしていない	3人	0.6%
放射線科	2人	0.4%	その他	23人	4.3%

[2] 自分の子や孫へのワクチン接種に関する考え(表3)

「ご家族に5才～11才の子どもや孫がいらっしゃいますか？」という質問に169人(医師86人, 歯科医師83人)が「はい」と回答した(表3:上段)。(表3)

この169人は「5才～11才の子ども、もしくは孫にワクチン接種をしますか？」という質問に、「する」と回答したのが5.3%(医師5.8%, 歯科医師4.8%)、「しない」が71.6%(医師70.9%, 歯科医師72.3%)、「しばらく様子を見てから判断する」が20.7%(医師20.9%, 歯科医師20.5%)であった(表3:中段)。「その他」と回答した4人中3人については「どちらかといえば接種を避けたい」という意見であった。

接種を「しない」、「しばらく様子を見てから判断する」と回答した156人(医師79人, 歯科医師77人)は、その理由として多い順に「副反応が心配」(60.3%)、「決めるための情報が十分でない」(66.0%)、「この年齢にワクチンは必要でない」(65.4%)、アレルギーなどの健康上の理由(10.9%)、その他(8.3%)(複数回答可)であった(表3:下段)。

<表3> 自分の子や孫へのワクチン接種に対する意識

ご家族に5才～11才のお子様やお孫様がいらっしゃいますか？						
	全員 n=541		医師 n=301		歯科医師 n=240	
はい	169人	31.2%	86人	28.6%	83人	34.6%
いいえ	372人	68.8%	215人	71.4%	157人	65.4%

5才～11才のお子様、もしくはお孫様にワクチン接種をしますか？						
	全員 n=169		医師 n=86		歯科医師 n=83	
する	9人	5.3%	5人	5.8%	4人	4.8%
しない	121人	71.6%	61人	70.9%	60人	72.3%
しばらく様子を見てから判断する	35人	20.7%	18人	20.9%	17人	20.5%
その他	4人	2.4%	2人	2.3%	2人	2.4%

「接種しない」、「しばらく様子を見てから判断する」とした方はその理由を選んでください (複数選択可)						
	全員 n=156		医師 n=79		歯科医師 n=77	
副反応が心配	94人	60.3%	53人	67.1%	41人	53.2%
決めるための情報が十分でない	103人	66.0%	52人	65.8%	51人	66.2%
この年齢にワクチンは必要でない	102人	65.4%	54人	68.4%	48人	62.3%
アレルギーなど健康上の理由	17人	10.9%	5人	6.3%	12人	15.6%
その他	13人	8.3%	6人	7.6%	7人	9.1%

[3] 親戚や友人から子どもへのワクチン接種を相談された場合の返答(表4)

「親戚や友人から子どもへのワクチン接種を相談されたら接種を推奨しますか?」との質問に、「推奨する」と回答したのが6.7%(医師8.6%, 歯科医師4.2%)、「推奨しない」が64.0%(医師59.5%, 歯科医師69.6%)、「しばらく待つように言う」と回答したのが24.4%(医師26.9%, 歯科医師21.3%)であった(表4:上段)。

接種を「推奨しない」、「しばらく待つように言う」と回答した478人(医師260人, 歯科医師218人)は、その理由として「副反応が心配」(59.4%)、「決めるための情報が十分でない」(66.3%)、「この年齢にワクチンは必要でない」(64.0%)、アレルギーなどの健康上の理由(12.3%)、その他(7.1%)(複数回答可)であった(表4:下段)。

<表4> 親戚や友人から接種を相談されたときの返答

親戚や友人から子どもへのワクチン接種を相談されたら接種を推奨しますか?						
	全員 n=541		医師 n=301		歯科医師 n=240	
推奨する	36人	6.7%	26人	8.6%	10人	4.2%
推奨しない	346人	64.0%	179人	59.5%	167人	69.6%
しばらく待つように言う	132人	24.4%	81人	26.9%	51人	21.3%
その他	27人	5.0%	15人	5.0%	12人	5.0%

「推奨しない」、「待つように言う」とした方はその理由を選んでください(複数選択可)						
	全員 n=478		医師 n=260		歯科医師 n=218	
副反応が心配	284人	59.4%	165人	63.5%	119人	54.6%
決めるための情報が十分でない	317人	66.3%	169人	65.0%	148人	67.9%
この年齢にワクチンは必要でない	306人	64.0%	170人	65.4%	136人	62.4%
アレルギーなど健康上の理由	59人	12.3%	15人	5.8%	44人	20.2%
その他	34人	7.1%	18人	6.9%	16人	7.3%

[4] 回答者の新型コロナワクチンの接種歴(表5)

回答者のワクチン接種歴は、「接種していない」が55.1%(医師51.8%, 歯科医師59.2%)、「1回接種した」が1.3%(医師2.0%, 歯科医師0.4%)、「2回接種した」が20.1%(医師16.6%, 歯科医師24.6%)、「3回接種した」が23.5%(医師29.6%, 歯科医師15.86%)であった(表5)。

<表5> 回答者の新型コロナワクチン接種歴

ご自身はワクチンを接種しましたか?						
	全員 n=541		医師 n=301		歯科医師 n=240	
接種していない	298人	55.1%	156人	51.8%	142人	59.2%
1回接種した	7人	1.3%	6人	2.0%	1人	0.4%
2回接種した	109人	20.1%	50人	16.6%	59人	24.6%
3回接種した	127人	23.5%	89人	29.6%	38人	15.8%

[5] 公的な副反応情報に対する評価(表6)

回答者は「国や自治体、医師会から届くワクチンの副反応情報は十分ですか?」との質問に対しては、「十分である」が2.2%、「やや十分である」が9.2%、一方で「不十分である」が47.7%、「あまり信賴していない」が37.3%、「その他」が3.5%であり、低い評価が目立った。

<表6> 国や自治体、医師会から届くワクチンの副反応情報の評価

国や自治体、医師会から届くワクチンの副反応情報は十分ですか？						
	全員 n=541		医師 n=301		歯科医師 n=240	
十分である	12人	2.2%	8人	2.7%	4人	1.7%
やや十分	50人	9.2%	34人	11.3%	16人	6.7%
不十分である	258人	47.7%	145人	48.2%	113人	47.1%
あまり信頼していない	202人	37.3%	104人	34.6%	98人	40.8%
その他	19人	3.5%	10人	3.3%	9人	3.8%

[6] 回答者の信頼レベル(表7)

回答者の二重投稿やなりすましを防ぐために、個人情報管理を厳格にすることを伝えた上で、①メールアドレスの入力を必須、②氏名、③所属の自由入力を求めた。その結果、氏名と所属の記入だけでも74.3%であり、高い信頼度であった。

<表7> 回答者の個人情報公開レベル

氏名と所属の公開レベルから見た回答者の信頼度				
氏名◎ 所属◎ メール◎	402人	74.3%		
氏名◎ 所属× メール◎	55人	10.2%		
氏名× 所属◎ メール◎	1人	0.2%		
氏名× 所属× メール◎	83人	15.3%		

本調査の限界

Limitation of the Survey

本意識調査にはいくつかの限界がある。

- (1) 実施時期が1月27日から1週間である。小児に対するワクチン接種については、政府や厚労省、専門家委員会での協議が重ねられている最中のため、今後の状況の変化が不明である。このため、中止や義務化、副反応の状況で、この結果が2~3ヶ月後に大きく変わる可能性がある。
- (2) 国民のワクチン接種率は80%以上であるが、本調査の回答者では44.9%(医師48.2%、歯科医師40.8%)と著しく低かった。要因として回答した医師が①接種率の高い病院ではなく、診療所の医師である、②栄養療法や統合医療に関心のある医師が多い、③ワクチンの副反応に関心が強い医師であったなどが考えられる。このために、本調査を同じ時期に教育関連病院、一般病院、様々な医学会に広げる共に、対象を医師・歯科医師だけでなく、看護師や薬剤師にも行うことが求められる。

結論

Conclusions

9割の医師・歯科医師は、業務外の場面では5~11才の小児へのワクチンを推奨しない。

執筆責任者：柳澤厚生

本報告書に関するお問合せ：一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会事務局
info@isom-japan.org

※ 必ずメールでご連絡くださいますようお願いいたします

別紙1: 「健康な小児に対する新型コロナワクチン接種」に関する医師・歯科医師の意識調査
＜一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会＞

本調査は一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会、点滴療法研究会、一般社団法人子どもコロナプラットフォームの3団体が合同で実施するものです。この調査の結果は学会誌やメディア、SNSなどで発信し、保護者が子どものワクチン接種を判断する資料の一つとして市民に提供されます。つきましては先生に本意識調査へのご協力をお願い致します。

なお、厚生労働省のワクチン副反応の最新データや日本小児科学会と日本小児科医会の関連記事(①～④)を参考資料として附記します。

①ワクチンの副反応に関する厚労省(予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)の報告。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html

②厚生労働省のワクチン副反応データを分かりやすく要約した泉大津市のサイト。

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/kakuka/kenko/kenkodukuri/osirase/kennkoujyouhou/koronawakutinsessyu/7070.html>

③日本小児科学会 「5～11歳小児への新型コロナワクチン接種に対する考え方」

http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=404

④日本小児科医会 「5歳～11歳の新型コロナウィルスワクチン接種にあたって」

<https://www.jpa-web.org/blog/uncategorized/a275>

以下、アンケートにご記入ください。

(記入時間 3分)

医師種別 必須
<input type="radio"/> 医師 <input type="radio"/> 歯科医師
性別 必須
<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
年齢 必須
<input type="radio"/> 25-29才 <input type="radio"/> 30-34才 <input type="radio"/> 35-39才 <input type="radio"/> 40-44才 <input type="radio"/> 45-49才 <input type="radio"/> 50-54才 <input type="radio"/> 55-59才 <input type="radio"/> 60-64才 <input type="radio"/> 65-69才 <input type="radio"/> 70-74才 <input type="radio"/> 75-79才 <input type="radio"/> 80才以上
勤務先 必須
<input type="checkbox"/> 病院 (教育機関関連) <input type="checkbox"/> 病院 (教育機関関連以外) <input type="checkbox"/> 診療所・クリニック <input type="checkbox"/> その他
※その他を選択された方は差し支えなければ下記にご記入ください。
<input type="text"/>

メインとなる診療科目を1つ選択してください 必須

- | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> 内科 | <input type="radio"/> 外科 | <input type="radio"/> 産婦人科 |
| <input type="radio"/> 麻酔科 | <input type="radio"/> 小児科 | <input type="radio"/> 精神神経科 |
| <input type="radio"/> 放射線科 | <input type="radio"/> 脳神経外科 | <input type="radio"/> 心臓血管外科 |
| <input type="radio"/> 整形外科 | <input type="radio"/> 形成外科・美容外科 | <input type="radio"/> 泌尿器科 |
| <input type="radio"/> 眼科 | <input type="radio"/> 耳鼻咽喉科 | <input type="radio"/> 皮膚科・美容皮膚科 |
| <input type="radio"/> 歯科・口腔外科 | <input type="radio"/> 診療をしていない | <input type="radio"/> その他 |

※その他を選択された方は差し支えなければ下記にご記入ください。

都道府県 必須

■以下、質問にお答えください。

【質問1】 ご家族に5才～11才のお子様やお孫様がいらっしゃいますか？ 必須

- はい → 【質問2】 から回答してください
いいえ → 【質問4】 から回答してください

参考 *5才：幼稚園年長児 11才：小学校6年

【質問2】 5才～11才のお子様、もしくはお孫様にワクチン接種をしますか？

- する
しない
しばらく様子を見てから判断する
その他

※その他を選択された方は差し支えなければ下記にご記入ください。

【質問3】 前問で「接種しない」、「しばらく様子を見てから判断する」とした方はその理由を選んでください（複数選択可）

- 副反応が心配
- 接種を決めるための情報が十分でない
- この年齢にワクチンは必要でない
- アレルギーなど健康上の理由
- その他

※その他を選択された方は差し支えなければ下記にご記入ください。

【質問4】 親戚や友人から子どもへのワクチン接種を相談されたら接種を推奨しますか？

必須

- 推奨する
- 推奨しない
- しばらく待つように言う
- その他

※その他を選択された方は差し支えなければ下記にご記入ください。

【質問5】 前問で「推奨しない」、「しばらく待つように言う」とした理由を選んでください（複数選択可）

- 副反応が心配
- 接種を判断するための情報が十分でない
- この年齢にワクチンは必要でない
- アレルギーなど健康上の理由
- その他

※その他を選択された方は差し支えなければ下記にご記入ください。

【質問6】 国や自治体、医師会から届くワクチンの副反応情報は十分ですか？ 必須

- 十分である
- やや十分
- 不十分である
- あまり信頼していない
- その他

※その他を選択された方は差し支えなければ下記にご記入ください。

【質問7】 ご自身はワクチンを接種しましたか 必須

- 接種していない
- 1回接種した
- 2回接種した
- 3回接種した

質問は以上です。
続けてお願いがございます。

【お願い】

本調査結果を公表した場合、実際に調査を実施したかなどデータの真偽を問われる可能性があります。それを避けるために先生の氏名、所属先、メールアドレスの非公開登録をお願いします。先生の個人情報は厳重に管理し、許可なく外部に公表することはありません。メールアドレスは必須項目となっています。お名前と所属先は自由記入となっていますが、ぜひ記入をお願いします。

お名前（非公開）

所属先（非公開）

メールアドレス（非公開） 必須

希望される方には本調査結果の公開時に登録アドレス宛に結果をお送りします。
調査結果の送付を希望されますか？ 必須

- 希望する
- 希望しない

以上で記入は全てとなります。
ご協力頂き、誠にありがとうございました。

一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会
代表理事 柳澤 厚生
info@isom-japan.org

メッセージ

本意識調査についてご意見やメッセージをお寄せください

別紙2: 各質問項目で「その他」と回答した内容

■勤務先「その他」の内容

グループホーム	〇〇歯科相談室	産業医(4人)
引退	健診センター等	海外在住のため休診中
保健予防財団	健診センター非常勤医師	開業医

昨年夏に閉院し、フリーランスです。

〇〇大学医歯学総合研究科教員です。臨床はやっていません。

育児中のため就労していません。

■専門「その他」の内容

疫学、分子生物学, 生化学	リハビリテーション科(2)	
婦人科検診など	総合診療科	健診
救急科	肛門科(2)	心療内科(3)
アーユルベータ	出生前診断	統合医療
抗加齢医学	歯科・小児歯科・矯正歯科	矯正歯科
栄養療法点滴療法主体の自由診療	アンチエイジング、癌治療	
内科・心療内科のほか漢方、ラドン療法、栄養療法、点滴療法など		

■【質問2】5才～11才のお子様、もしくはお孫様にワクチン接種をしますか？

「その他」の内容

- ・孫の両親にワクチンはしないように連絡をしている
- ・私は反対ですが、婿がワクチン接種派なので心配です。
- ・今年中学1年生になる孫娘は、海外のインターナショナルスクール進学のため必須です。
- ・させたくない。

■【質問3】前問で「接種しない」、「しばらく様子を見てから判断する」とした方はその理由を選んでください

「その他」の内容

- ・リスクとベネフィットのバランスを考えると、日本では多くの人に不必要と考えている。
- ・メリットが全くない遺伝子組み換え注射だと理解している、自然免疫が最強
- ・そもそもこの感染症にワクチンは不要と考えるため
- ・メリットが感じられない
- ・不妊や心筋炎の可能性がある、危険である。
- ・ワクチンそのものの必要性がわからない。そもそもPCR検査の正確性がわからない検査の正確性を正し前進するべきだと思う
- ・ワクチンの接種による予防効果がないと考えるから
- ・1メチルシュードウリジン修飾によって活性化される抑制性T細胞の働きで自然免疫が減衰して癌や他の感染症などを抑制する免疫システムが破壊される可能性があるから。
- ・接種の意味がない
- ・ワクチンありきの国の風潮によって、ワクチンを接種しなかった場合に不利益を生じる(ワクチン接種者と接種してない者の区別が生じる)可能性が怖い。
- ・症状に対して必要性を感じる事が出来ない
- ・成長段階にある子供たちにとって、しっかりと説明がなされていないと思うので

■【質問4】親戚や友人から子どもへのワクチン接種を相談されたら接種を推奨しますか？

「その他」の内容

- ・絶対に接種するな(恒久的に)と言う
- ・基礎疾患を持っているなら推奨、それ以外は様子見か接種かどちらかを勧めます
- ・推奨もしないが求められれば自分の見解を述べる。
- ・ワクチンの効果は、他の疾患との問題とともに、10年後の結果によるものです。今はそれぞれの親の判断に任せるしか無いから十分な情報を提供して、その後に判断してもらったら良いと思います。
- ・自分で決めなさいという。責任は自分しか取れないから。
- ・個人的には推奨しないが、立場的に推奨しなければならぬ。
- ・我が子には接種しない。とだけ伝えます。
- ・親御さんがコロナにかかることを心配している場合は止めないと思います
- ・自分の判断で
- ・自分の子供であれば接種と思うが、やはり親戚でも副作用の可能性があるので強くは勧められない。
- ・自己判断で。
- ・個人の生命の問題である為、推奨はしないが本人が学習する問題だと思う
- ・現在の医学的知見をメリットデメリットの面からお話する
- ・自分で選択するようになってしまう
- ・接種するかしないかどちらが正しいか判断できない。自分の子供には打たせていない。
- ・自分で判断をするしかないでしょう。
- ・海外の医学論文やニュースなどの情報をあげて判断の参考にしてもらう
- ・家庭環境・本人の基礎疾患の有無で判断したいと考えます
- ・自分も、子供に接種させるか迷っているためアドバイスできない。
- ・わからない
- ・話を聞くだけで、自分で考えてもらうようにする
- ・健康上に問題がなさそうなら摂取しても良いと言うかもしれない
- ・自己判断をしてもらう
- ・基礎疾患がある場合は接種を検討する意味はあると思います。

■【質問6】国や自治体、医師会から届くワクチンの副反応情報は十分ですか？

「その他」の内容

- ・全く信頼できない
- ・不十分であり、特に最新の情報に拠っておらず信頼できるものではない。
- ・全然信用していない
- ・副反応以外に、長期間(最低5年)経過後の副作用の可能性が余り言及されていない。
- ・医師会に属してないのでわからない。自治体からのワクチンの説明には如何なる副反応が起きるかわからないことは記されてある。
- ・そもそも、mRNA ワクチンの「長期の」副反応の有無は誰にも分からない(データがない)。
- ・十分どころか伝えていない うたせるように都合良く伝えている
- ・論外です
- ・全く信用していない。
- ・全く信用していない
- ・嘘を述べている
- ・SNS や週刊誌より信頼ある。
- ・ワクチン接種後、何人も死んでいることを国が認めてないことに不満を持っています。もっと情報開示をして欲しいものです！
- ・あまりではなく全く信頼していません
- ・ワクチンそのものに安全性が確立されていない。医師の間でも議論が分かれていると思います。
- ・副反応や有害事象に関する情報はほぼ皆無で、明らかに隠蔽されている。
- ・長期的な判断ができないので何とも言えない
- ・諸外国のものを含め、自分で調べる
- ・全く信用していません。

本意識調査研究は以下の3団体が共同で実施した

一般社団法人こどもコロナプラットフォーム
一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会
点滴療法研究会

- 一般社団法人こどもコロナプラットフォーム
大阪府泉大津市東雲町13番11号
<https://www.kodomocorona.com/>
mail: kodomoplatform@gmail.com
- 一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会
東京都港区赤坂8丁目 4-14 青山タワープレイス 8F
<https://isom-japan.org/>
mail: info@isom-japan.org
- 点滴療法研究会
東京都渋谷区恵比寿1丁目23-13 アルカイビル 4F
<https://www.iv-therapy.org/>
mail: info@iv-therapy.jp



[本報告書に関するお問合せ]

一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会事務局

info@isom-japan.org

※ 必ずメールでご連絡くださいますようお願いいたします